

2011年6月16日

報道各位

JX 日鉱日石金属株式会社

使用済みリチウムイオン電池等からのレアメタルリサイクルに向けた実証化試験について

JX 日鉱日石金属株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目 社長：岡田昌徳 以下「当社」）は、以前から進めている使用済みリチウムイオン電池等からのレアメタルリサイクルに向けた実証化試験を継続することを決定しました。

当社は福井県敦賀市の敦賀工場において、2010年4月より経済産業省の委託事業である「使用済みリチウムイオン電池等からコバルト，ニッケル，マンガンおよびリチウム（以下「当該レアメタル」）を回収する実証化試験」を実施し終了いたしました。この試験により，当該レアメタル回収に関する当社の独自技術の有効性を確認しました。そして今後当該レアメタルの使用済みリチウムイオン電池等からの回収を事業化するためには，回収した当該レアメタルの品質の改善，使用済みリチウムイオン電池等の原材料への対応並びにリサイクルコストの経済性の追求が必要と判断するに至りました。

そのため，これまで実証化試験を進めてきた敦賀工場に一部設備を追加して，2012年10月の事業化を目標に，更なる実証化試験と事業化に向けた種々の検討を行うことといたしました。設備投資額は約7億円です。

リチウムイオン電池は，携帯電話，パソコン等の電子機器に加え，近年ハイブリッド車や電気自動車の搭載電源として世界的にも注目され，急速に普及してきています。また，先の東日本大震災を契機に，蓄電能力の観点からもリチウムイオン電池が注目されています。

リチウムイオン電池の需要は今後益々拡大すると考えられることから，環境リサイクル事業の強化拡充策の一環として，当社は当該レアメタルリサイクルを早期に事業化し，リチウムイオン電池の原料の安定供給と資源循環型社会システムの構築に貢献するべく，全力で取り組んでまいります。

以上